

設置工事説明書

ガス衣類乾燥機

| 品名 | | 型式名 |
|--------------|----------------|--------------|
| 前扉 左開き | 前扉 右開き | |
| RDT-52SA | RDT-52SA-R | RDT-52SA |
| RDT-52SUA | RDT-52SUA-R | RDT-52SUA |
| RDT-52SA(G) | RDT-52SA(G)-R | RDT-52SA(G) |
| RDT-52SUA(G) | RDT-52SUA(G)-R | RDT-52SUA(G) |

この機器の設置には
資格が必要です。



07221071

RDT52SA-0054X01(00) ©

もくじ

| | |
|---------------------------|----|
| 安全上のご注意 (必ずお守りください) …… | 1 |
| 1 設置前のご注意 …… | 2 |
| 2 設置場所の確認 …… | 3 |
| 3 同梱部品の確認 …… | 4 |
| 4 前扉の開閉方向変更について …… | 4 |
| 5 標準設置例 …… | 9 |
| 6 設置工事手順 …… | 9 |
| 7 電気・ガスの接続 …… | 13 |
| 設置工事後の点検 …… | 16 |
| 試運転 …… | 16 |
| お客様への取り扱い説明 …… | 16 |

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ設置工事をしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|--|
|  警告 | この表示を無視して誤った工事をする、設置工事業者や使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されることを表しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った工事をする、設置工事業者や使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定されることを表しています。 |

- 絵表示には、次のような意味があります。

| | | | | | |
|---|------------------------------|---|-------|---|-------------|
|  | この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |  | 水ぬれ禁止 |  | ぬれ手禁止 |
|  | この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。 | | | | |
|  | この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。 |  | 換気必要 |  | アース線を必ず接続する |

- 設置工事完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この設置工事説明書は、取扱説明書とともに保管いただくよう、お客様にお渡しください。

警告

-  **お客様ご自身では絶対に機器の設置・移動・分解・修理・改造および付帯工事は行わない**
 - 一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、感電の原因になります。
 - 専門の技術・資格が必要です。必ずお買い上げの販売店、または施工店に依頼して、有資格者による正しい工事を行ってください。
-  **この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された工事を行う**
- 設置工事は、当該地域の条例および規定によるほか、必ずこの「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」(一般財団法人日本ガス機器検査協会刊)に従う**
変則的な設置はしないでください。事故や火災の原因になります。

警告



■設置工事部品は必ず付属部品および指定の部品、専用台を使用する

当社指定部品、専用台を使用しないと、けが、機器故障、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災の原因になります。

■給排気に関する設置基準や防火上必要な処置などの設置条件は、必ずこの「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う

これらの設置条件を満たさない設置が原因で生じた故障および損傷・人身事故などは工事者の責任となります。保証期間内でも保証の対象となりません。

■換気が十分できる設備がある場所に設置する

■設置工事が終わったら、「設置工事後の点検のチェックリスト」にもとづいて必ず再確認を行う

不備があると、一酸化炭素中毒、ガス漏れ、火災、感電の原因になります。

注意



■業務用として使用しない

この機器は一般家庭用です。業務用として使用すると事故や火災の原因になります。

■冬期凍結のおそれがある場所に設置しない



■設置場所を決めるときは、お客様とよく相談する

■設置については、各地域の火災予防条例および建築基準法に従う

■集合住宅のベランダに設置する場合は、避難通路を確保する

■扉内設置の場合の保守・点検は、器具を扉内から引き出すなどして、十分なスペースを確保する

1 設置前のご注意

設置する機器のガス・電源の確認

警告



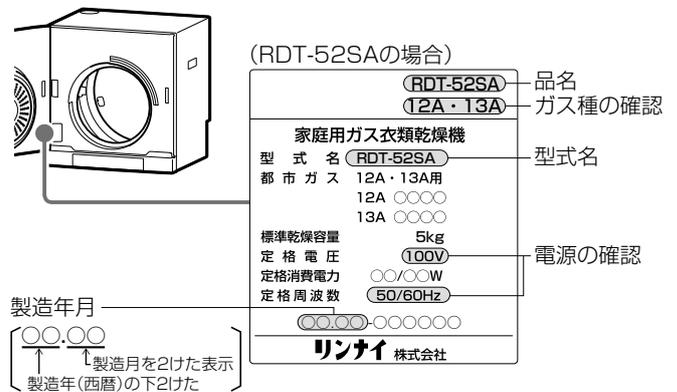
■機器本体銘板に記載してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）以外のガスおよび電源では使用しない

●記載のガスおよび電源と使用ガスおよび使用電源が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常点火や機器故障の原因になりますので使用しないでください。

●転居された場合も、供給ガスの種類および電源の種類を必ず確認してください。

●ガス種の異なる地域へ転居する場合は、部品交換や調整が必要です。（有料）

銘板（12A・13Aの場合）〈例〉



アース(接地) について

警告



アース線を必ず接続する

■アース(接地) を確実に取り付ける

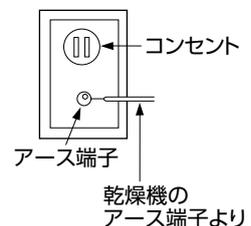
●ご使用前に右記のいずれかの方法で必ずアースをしてください。

●アース工事は必ずお買い上げの販売店、または施行店にご依頼ください。（電気工事士の有資格者がD種接地工事をするよう、法令で決められております。）

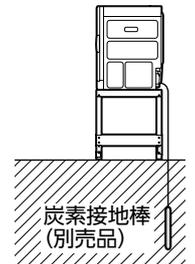
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）

※設置場所の変更や転居の際には、再度アースを取り付けてください。

●お部屋のコンセントにアース端子が付いている場合



●炭素接地棒を使用される場合



2 設置場所の確認

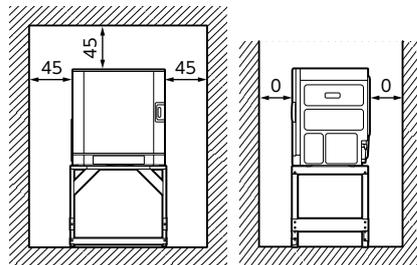
機器本体の周囲

警告



■家具や壁・棚など可燃性の部分との距離を十分に離す
防火上必要な離隔距離をとって設置してください。火災や機器過熱によるやけどの原因になります。

■防火上必要な離隔距離 (mm以上)



■メンテナンス上、必要な離隔距離 (mm以上)

| | |
|-------|-----|
| 上方 | 300 |
| 正面左側方 | 250 |
| 正面右側方 | 100 |
| 後方 | 45 |
| 前方 | 600 |

表の離隔距離は、機器を下ろして作業する場合に必要なスペースです。

警告

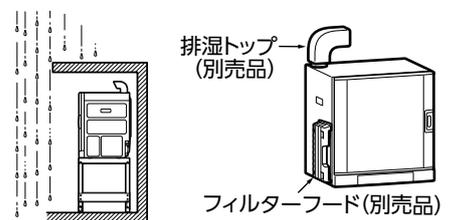


水ぬれ禁止

■浴室など高温・多湿の場所や風雨にさらされる場所（ベランダ設置を除く）には設置しない
漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。



■ベランダや軒下など屋外で使用する場合は、機器の上方に必ずひさしのような屋根を設け、【排湿トップセット（フィルターフード付）DT-252NF】を取り付ける
機器に直接水や雨がかかると、漏電して感電・火災の原因になります。また、機器故障の原因になります。



警告



■ベンジン・シンナー・ガソリンなどの揮発性引火物を使用する場所には設置しない
爆発や引火して、火災のおそれがあります。

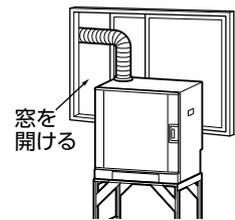


警告



換気必要

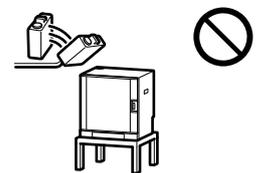
■ガスの完全燃焼には多量の空気が必要です。換気が十分できる設備があるところに設置する
換気しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



注意



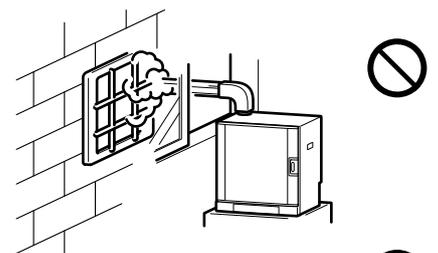
■棚の下など落下物などのおそれのある場所には設置しない
落下物によっては、火災のおそれや機器故障の原因になります。



注意



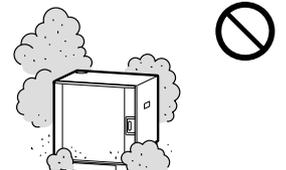
■排湿トップ（またはパイプフード）からの多量の水蒸気や音などが、隣家の迷惑になるような場所では使用しない
結露や騒音の原因になります。



注意



■綿ぼこりの多い場所には設置しない
機器故障の原因になります。

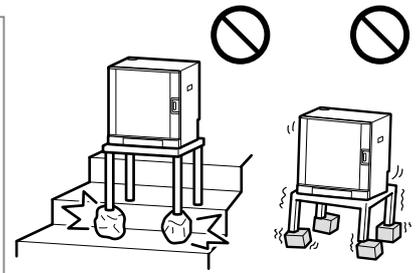


⚠️ 注意



■水平で安定性のよい丈夫な場所、乾燥機の質量に十分耐え得る場所、騒音や振動が増大しない場所に設置する。水平器を用いて、水平であることを確認する

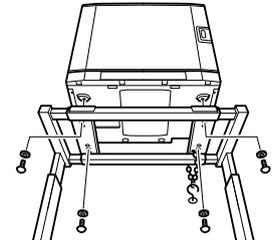
不安定な場所や傾いた場所に設置すると、安全装置が正常にはたらかなかったり、機器が転倒して、けがをすることがあります。また、建物の破損や騒音の原因になります。



⚠️ 注意



■専用台にのせて使用の際は、壁のすぐ前に設置し、鎖（専用台に付属）で専用台と壁や柱をつなぐ。また、機器は専用台にネジで固定する機器のうしろに壁がなかったり、鎖のつなぎかたや、ネジの固定が不十分であったりした場合、機器が転倒して、けがをすることがあります。



3 同梱部品の確認

●設置工事を始める前に、同梱部品の種類と数を確認してください。

| 品名 | 形状 | 個数 | 品名 | 形状 | 個数 | 品名 | 形状 | 個数 | 品名 | 形状 | 個数 |
|-------------|----|----|-----------------|-------------|----|-----------|----|----|---|----|----|
| 取扱説明書 | | 各1 | ネジ (機器本体固定用) | M5× 12mm | 4 | 小物 乾燥棚 | | 1 | ねじ変換継手 (R3/8 → R1/2) (ねじ接続変換用) ※ RDT-52SUA、 RDT-52SUA(G)、 RDT-52SUA-R、 RDT-52SUA(G)-R のみ | | 1 |
| 設置工事 説明書 | | | 座金 (機器本体固定用) | | 4 | | | | | | |

※購入時、小物乾燥棚はドラムの中に入っています。使用する前に必ず取り出してください。

4 前扉の開閉方向変更について

前扉を左開きから右開きに変更する場合の手順です。

右開きから左開きに変更する場合は、各部品の取り付けが左右逆になります。

※ ⊕ のネジは専用ネジです。他のネジと間違えないようにしてください。

※扉の開閉方向変更は、お買い上げの販売店、または当社お客様センターにご依頼ください。(有料)
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054321

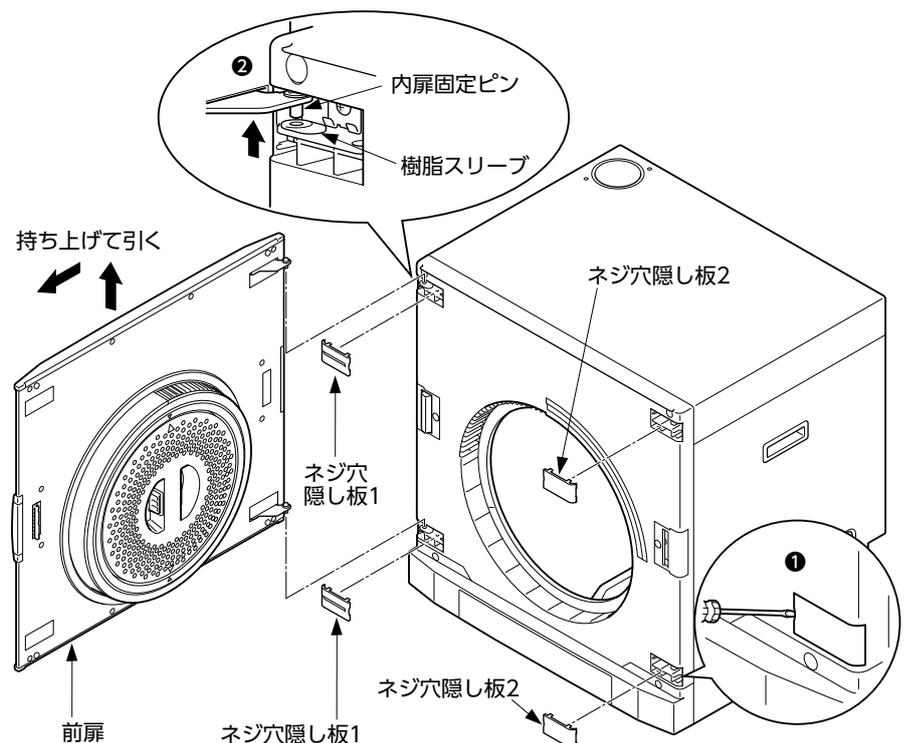
1 前扉を取り外す

①ネジ穴隠し板1 (2カ所)、ネジ穴隠し板2 (2カ所) を ⊖ ドライバーで外す。

※傷をつけないように注意

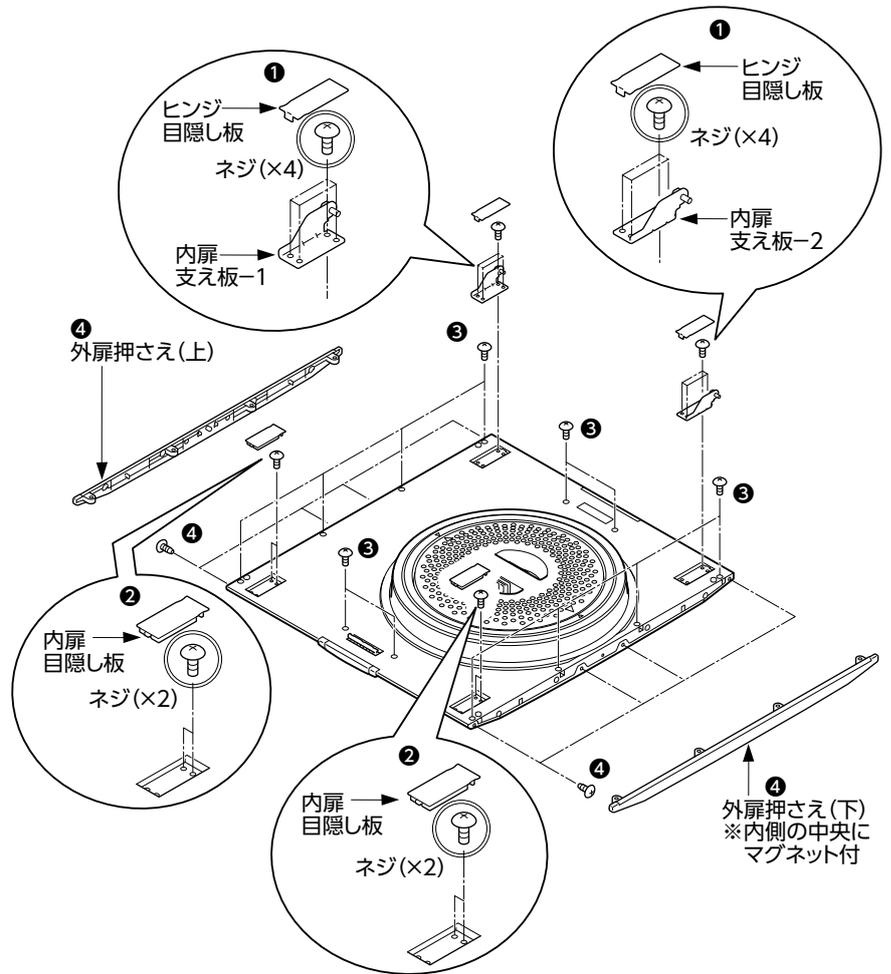
②前扉を少し持ち上げて、内扉固定ピンを樹脂スリーブから引き抜いて外す。

※樹脂スリーブが外れて落ちる場合があります。



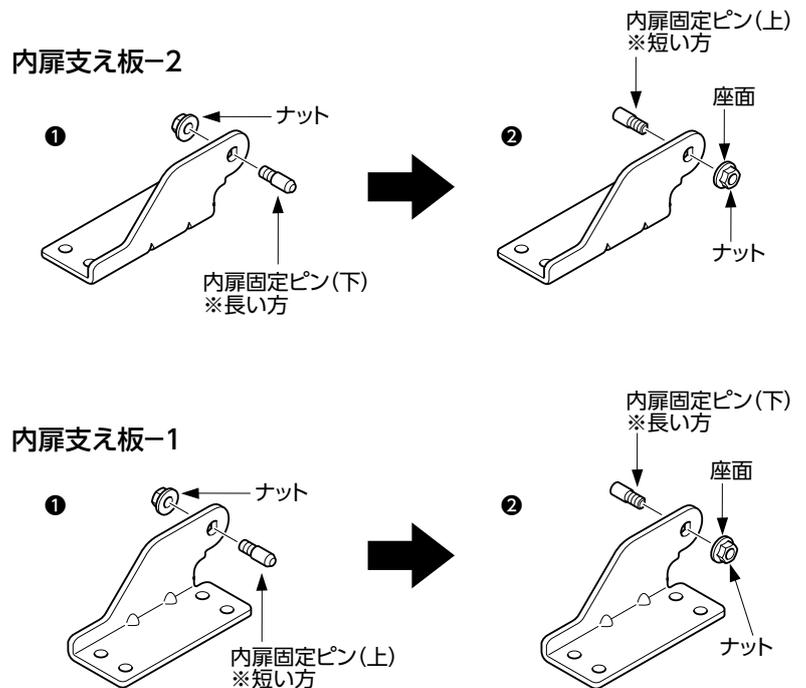
4 前扉(ウラ)を分解する

- ① ヒンジ目隠し板(2カ所)を⊖ドライバーで外し、中にあるネジ(4本×2カ所)を外す。
 ・内扉支援板-1、内扉支援板-2を外す。
 ※傷をつけないように注意
- ② 内扉目隠し板(2カ所)を⊖ドライバーで外し、ネジ(2本×2カ所)も外す。
 ※傷をつけないように注意
- ③ タッピンネジ(12カ所)を外す。
- ④ 外扉押さえ(上)(下)を外し、タッピンネジ(8カ所)を外す。
 ※外扉押さえ(下)にはマグネットが付いています。



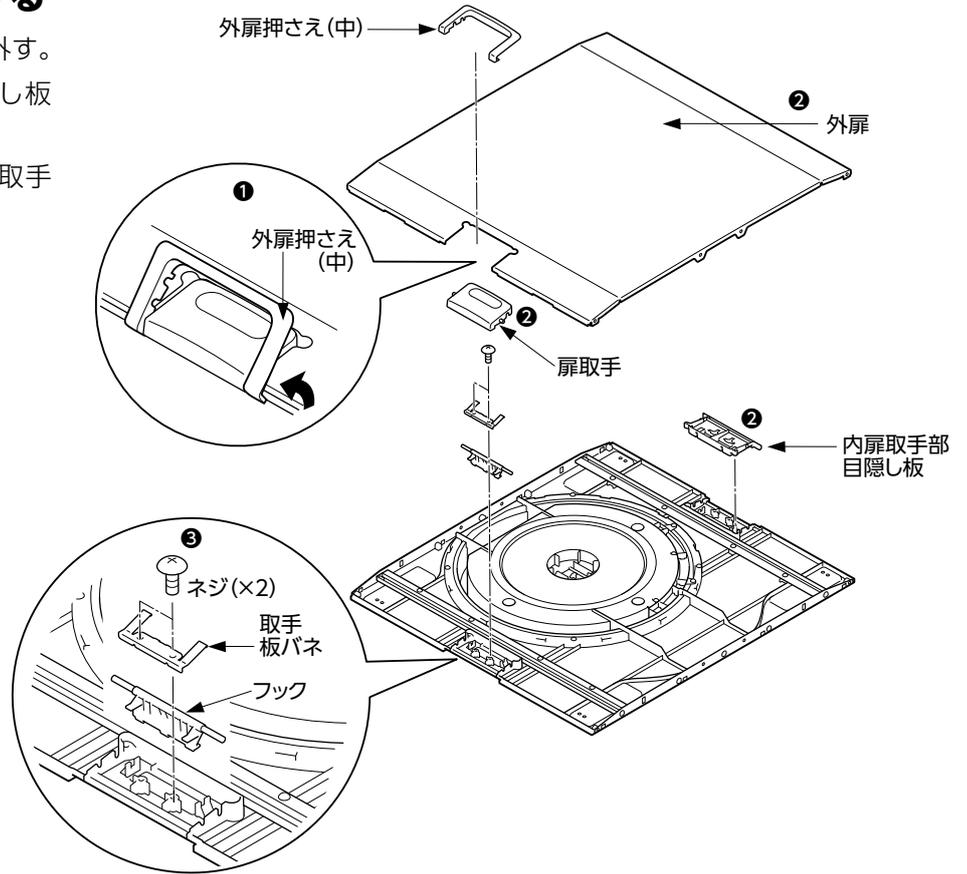
5 内扉支援板のピンを付け替える

- ① 内扉支援板-2から内扉固定ピン(下)、内扉支援板-1から内扉固定ピン(上)を外す。
- ② 内扉支援板-2に内扉固定ピン(上)、内扉支援板-1に内扉固定ピン(下)を取り付ける。
 ※内扉固定ピンの付け替えはスパナ(六角対辺8mm)が必要です。
 ※ナットは座面が内扉支援板に接するように取り付ける。
 ※前扉を右開きから左開きに変更する場合は、①②の作業は逆になります。



6 前扉 (オモテ) を分解する

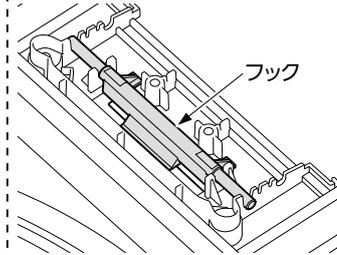
- ① 外扉押さえ (中) を手前に引いて外す。
- ② 外扉、扉取手、内扉取手部目隠し板を外す。
- ③ タッピンネジ (2カ所) を外し、取手板バネ、フックを外す。



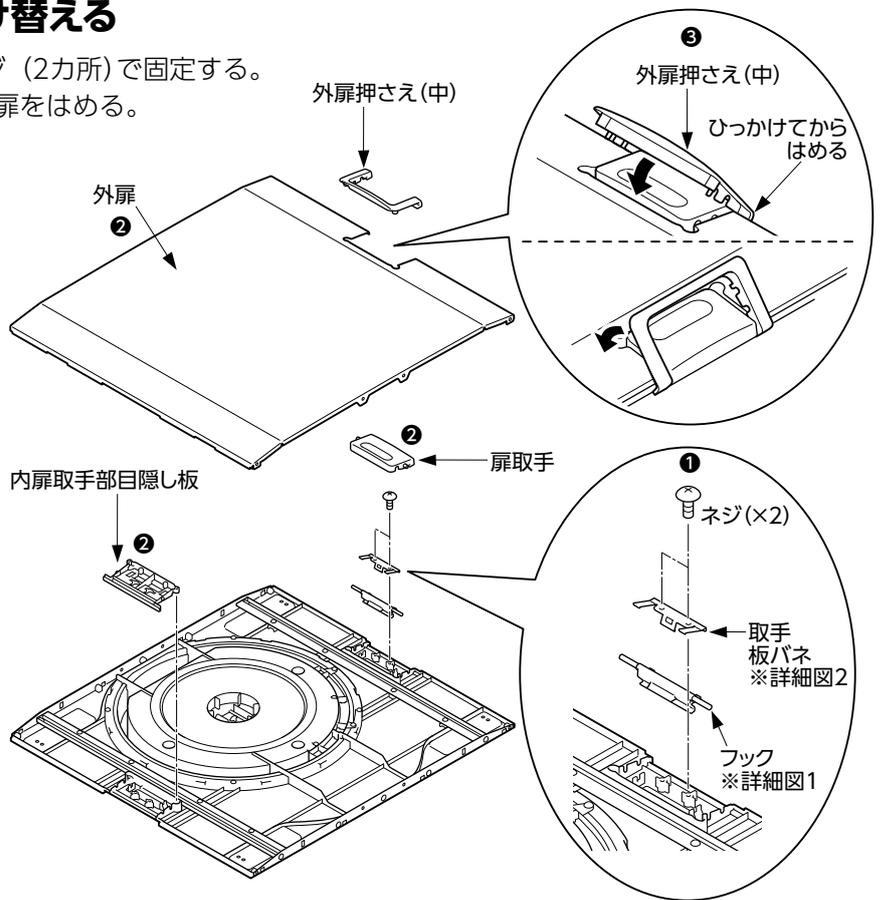
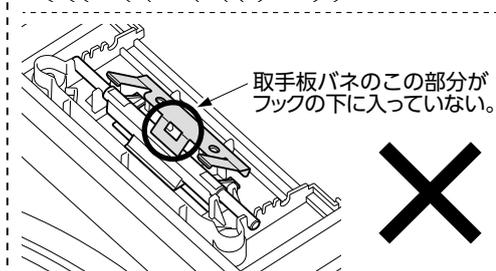
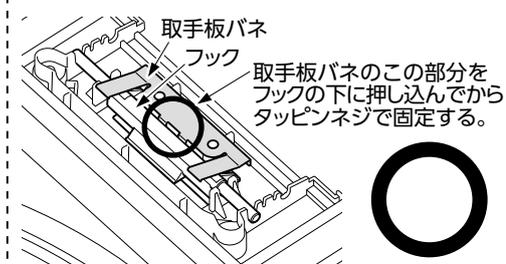
7 前扉 (オモテ) に部品を付け替える

- ① 取手板バネ、フックをはめ、タッピンネジ (2カ所) で固定する。
- ② 扉取手、内扉取手部目隠し板を付け、外扉をはめる。
- ③ 外扉押さえ (中) をはめる。

※詳細図1

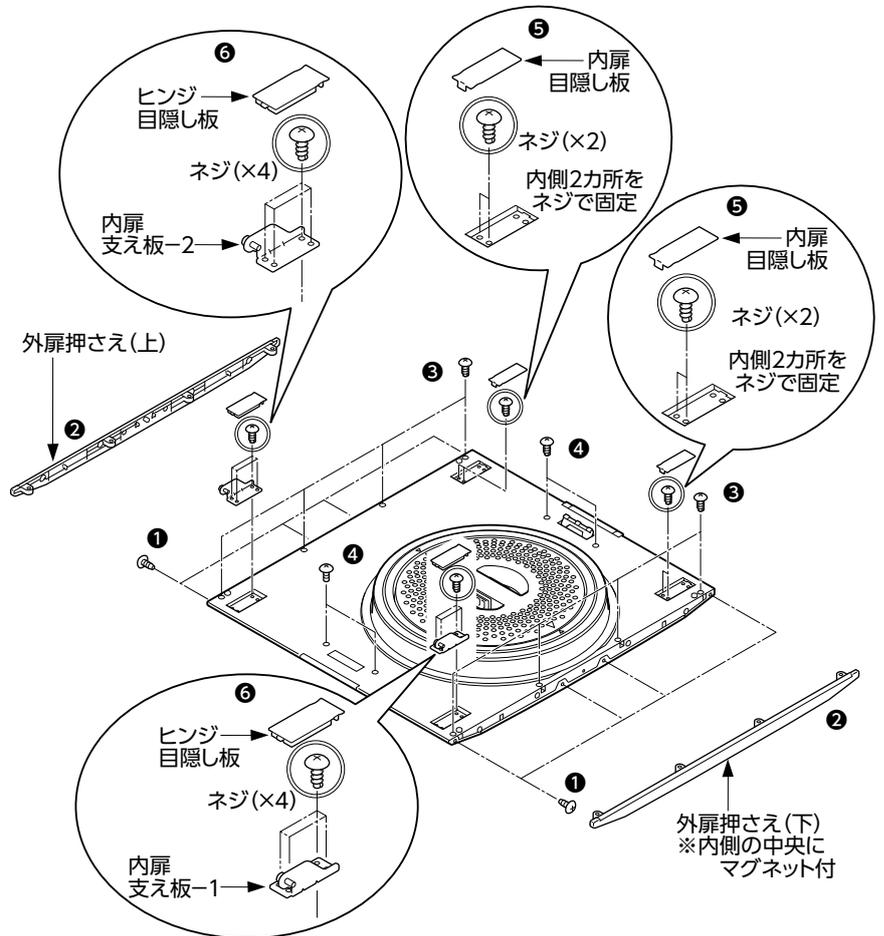


※詳細図2



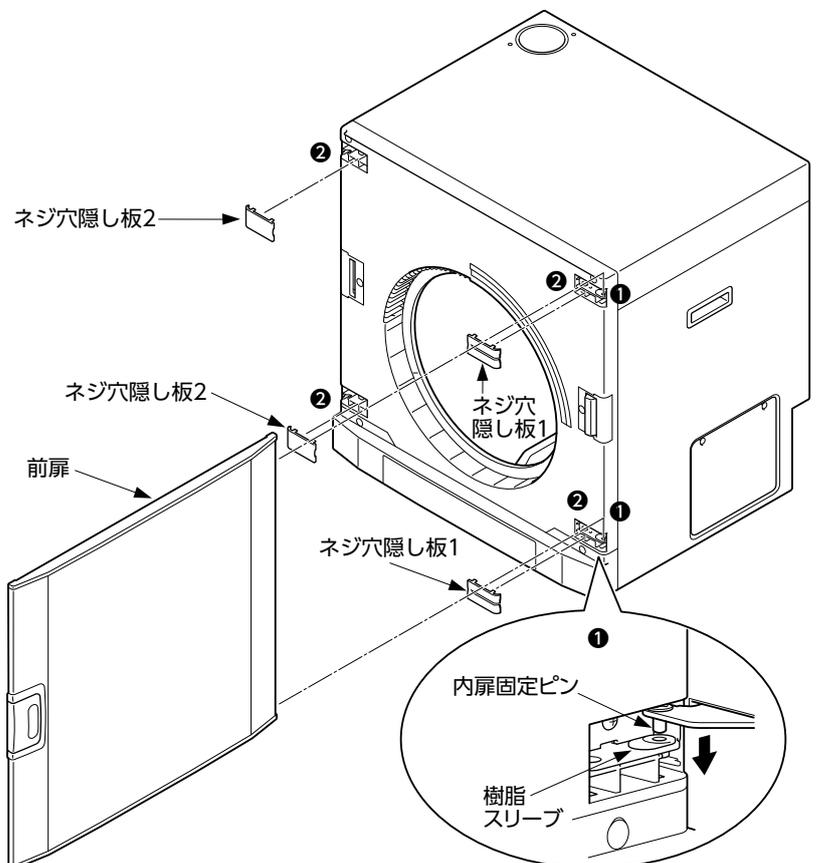
8 前扉 (ウラ) に部品を付け替える

- ① 前扉の上面、下面をタッピンネジ (4本×2カ所) で固定する。
- ② 前扉の上面に外扉押さえ (上)、前扉の下面に外扉押さえ (下) をはめこむ。
※外扉押さえ (下) にはマグネットが付いています。
- ③ 外扉押さえ (上) (下) をタッピンネジ (4本×2カ所) で固定する。
- ④ 前扉 (ウラ) をタッピンネジ (2本×2カ所) で固定する。
- ⑤ ネジ (2本×2カ所) で前扉 (ウラ) を締め、内扉目隠し板 (2カ所) をはめる。
- ⑥ 内扉支え板-1、内扉支え板-2 をネジ (4本×2カ所) で固定し、ヒンジ目隠し板 (指挟み注意シール付) (2カ所) をはめる。



9 前扉を取り付ける

- ① 内扉固定ピンを樹脂スリーブに差し込んで、前扉を取り付ける。(2カ所)
- ② ネジ穴隠し板 1 (2カ所) とネジ穴隠し板 2 (2カ所) をはめる。
- ③ 前扉の開閉確認を行う。

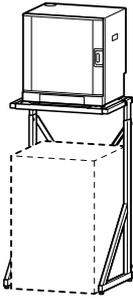


お願い

- 前扉の向きを変更をした後は、試運転をしてください。(16 ページ)

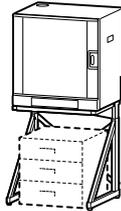
5 標準設置例

洗濯機の上に設置してご使用の場合



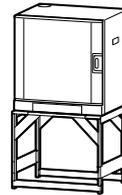
別売の
ガス衣類乾燥機専用台(高)
(DS-54HSF) ※

衣類の収納ラックなどを置くスペースとしてご使用の場合



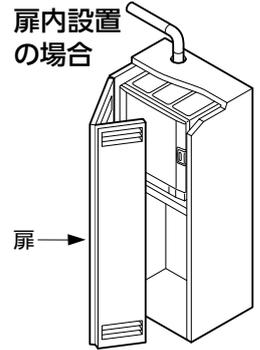
別売の
ガス衣類乾燥機専用台(中)
(DS-80MSF)

低い位置でご使用の場合



別売の
据置用専用台(低)
(DS-52LSF)

扉内設置の場合



乾燥機をご使用中は、扉を開けてください。

お願い

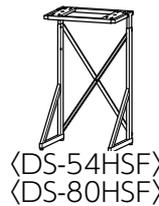
- 専用台には寿命があります。乾燥機の買い替えをしたときは、別売の専用台も新しいもの買い替えてください。
- 専用台を使用する場合は、別売の専用台 (DS-54HSF、DS-80MSF、DS-52LSF) を使用してください。※ DS-80HSF もお使いいただけます。
- 扉内設置については、各地域の火災予防条例および建築基準法に従ってください。

6 設置工事手順

1 専用台の組立て

■別売の専用台 DS-54HSF、DS-80HSF、DS-80MSF および DS-52LSF の組立ては、専用台に同梱の組立説明書を参考に、組み立てる。

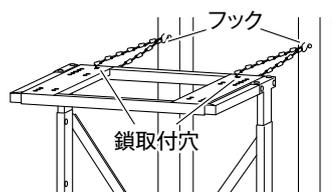
●転倒防止の鎖は、組立説明書に従い、必ず取り付ける。



2 乾燥機の設置

■乾燥機を設置する。(床面が水平で丈夫であること、壁のすぐ前に設置することを確認する。)

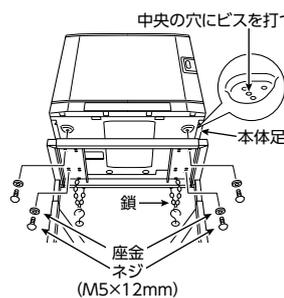
①鎖を専用台の鎖取付穴に通す。



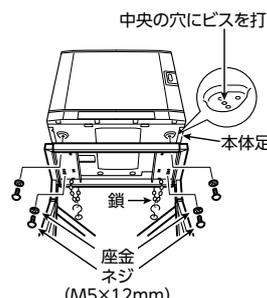
(注) 別売の専用台 DS-80HSF、DS-54HSF および DS-80MSF は、鎖を必ず2本使用してください。

②棚板の上に乾燥機をのせる。

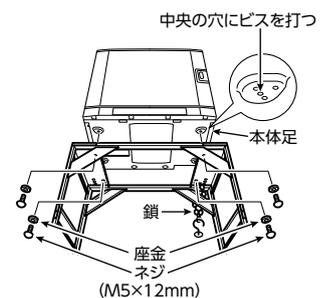
③同梱の座金(×4)とM5×12mmのネジ(×4)を使用し、専用台の穴と乾燥機の本体足の中央部の穴を合わせて下から取り付ける。



<DS-54HSF>
<DS-80HSF>



<DS-80MSF>



<DS-52LSF>

注意

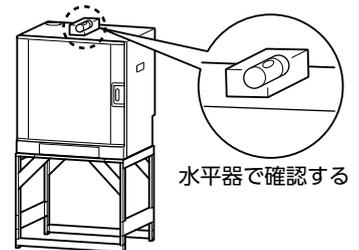


■同梱のM5×12mmのネジ以外は、絶対に使用しないでください。機器故障の原因になります。

④乾燥機が水平であることを、水平器で確認する。(前後、左右)

水平でないと扉が勢いよく開いて、けがや扉の破損の原因になります。また、安全装置が正常に作動しないおそれがあります。

※DS-54HSF、DS-80HSF およびDS-80MSFは高さ調整ネジ(脚部)で調整が可能です。



※DS-52LSFの場合 (DS-54HSF、DS-80HSF およびDS-80MSFの場合も同じように確認してください。)

3 排湿部材の取り付け

⚠ 注意



■排湿筒を直接、換気扇などに接続しない

換気扇の風量不足により、排気が阻害され機器停止や湿気漏れ、カビの原因になります。

■複数台の排湿筒を連結したり、換気用のダクトと連結したりしない

風量不足により、排気が阻害され機器停止や火災、湿気漏れ、カビの原因になります。

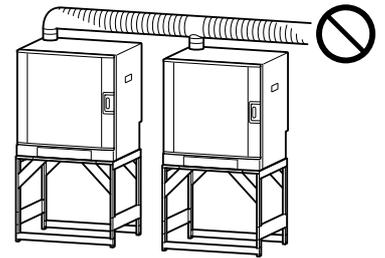


■屋内設置の場合は、必ず屋外に排湿するための排湿筒を取り付ける

排湿筒からは短時間に多量の湿気（約3L/1回、標準乾燥容量時）が排出されるため、カビ、結露の原因になります。

■必ず当社の指定部材を使用する

市販の防虫網付パイプフードや出口面積の狭いパイプフードのような指定部材ではないものを使用すると、排気が阻害され、乾燥機能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります。



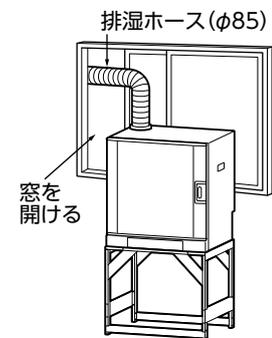
排湿ホースを使用した排湿

■排湿ホース DH-85（樹脂製、全長約 1.5 m）を使用する。

■窓を開けないで使用する場合は、別売の窓パネルセット DW-52 を使用する。

適用窓枠高さ……600～1000 mm

〈排湿ホース利用〉



お願い

■排湿ホースを継ぎたして延長しないこと。通路抵抗が大きくなったり、ドレン漏れの原因になります。

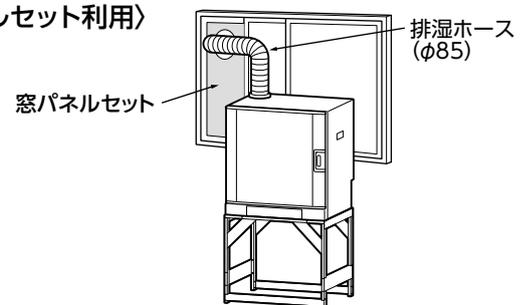
最大延長 1.5 m 2 曲りまで。

（接続延長はできません）

■既存のダクトは新しいものに交換してください。

乾燥性能の低下や排気漏れによる一酸化炭素中毒のおそれがあります。

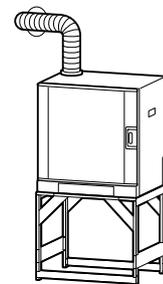
〈窓パネルセット利用〉



排湿管セットを使用した排湿

■排湿管セット DPS-100（アルミ製、全長約 2 m、φ 100）、ダンパー付排湿管セット DPS-100K（アルミ製、全長約 2m、φ 100）または排湿管セット DPS-75（アルミ製、全長約 2 m、φ 75）、ダンパー付排湿管セット DPS-80K（アルミ製、全長約 2m、φ 75）を使用する。

（市販の防虫網付パイプフードなどを使用すると排気が阻害され、乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります）



お願い

■アルミフレキを継ぎたして延長しないこと。通路抵抗が大きくなったり、ドレン漏れの原因になります。

最大延長 2 m 2 曲りまで。

（接続延長はできません）

■既存のダクトは新しいものに交換してください。

乾燥性能の低下や排気漏れによる一酸化炭素中毒のおそれがあります。

ステンレス製の排湿筒を使用した排湿

⚠ 注意



- 排湿筒を延長する場合は、先下り勾配とし、途中でドレン溜りのできないようにする。また、排湿筒の接続部の固定およびシールも十分行う。
隠ぺい配管となる場合は適所に点検口を設ける。
排湿筒は、専用の取付バンドを排湿筒の接続部、または排湿筒1.5m～2mの長さに対して1個の割合で取り付ける。
防火ダンパーを取り付ける場合には、作動温度120℃のものを選定してください。
- 最大延長及び最大立上げは下記の表を参照してください。排湿温度は100℃以下のため断熱材施工は不要ですが、必要に応じて結露対策として断熱施工をしてください。

■排湿筒の施工は、必ず下記の指定部材を使用する。

■φ80の場合

- ① φ80の排湿口ガイド (DG-80A) またはダンパー付排湿口ガイド (DG-AK)
- ② 排湿管
 - (2-1) φ80KP直管 (2-2) φ80KPエルボ管 90°
- ③ φ80パイプフード (DF-80)
壁貫通穴はφ90～φ95です。
(詳しくはパイプフード設置工事説明書を参照してください)
(市販の防虫網付パイプフードなどを使用すると排気が阻害され、乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります)

| | |
|-------|---------|
| 最大延長 | 8m 2 曲り |
| 最大立上げ | 8m |

●排湿筒の長さは、エルボ管の使用個数で次式に従い算出してください。

$$(エルボ管の場合) D=L+M \times 2 \quad * D \text{の最大は } 12$$

L: 延長筒直管の長さ (m)
M: エルボ管 90°の個数 (個)

■φ100の場合

- ① φ100の排湿口ガイド (DG-100A) またはダンパー付排湿口ガイド (DG-AK)
- ② 排湿管
 - (2-1) φ100KP直管 (2-2) φ100KPエルボ管 90°
- ③ φ100パイプフード (DF-100)
壁貫通穴はφ110～φ115です。
(詳しくはパイプフード設置工事説明書を参照してください)
(市販の防虫網付パイプフードなどを使用すると排湿が阻害され、乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります)

| | |
|-------|----------|
| 最大延長 | 10m 4 曲り |
| 最大立上げ | 10m |

●排湿筒の長さは、エルボ管の使用個数で次式に従い算出してください。

$$(エルボ管の場合) D=L+M \times 4 \quad * D \text{の最大は } 26$$

L: 延長筒直管の長さ (m)
M: エルボ管 90°の個数 (個)

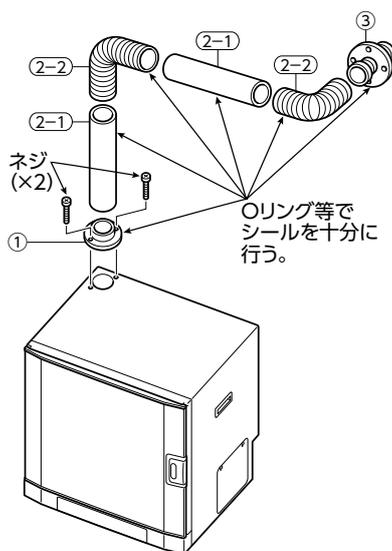
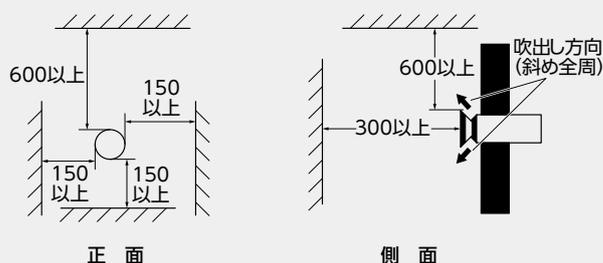
お願い

- 既存のダクトは新しいものに交換してください。
乾燥性能の低下、機器故障、機器停止、湿気漏れ、カビ、結露の原因になります。

⚠ 警告



- パイプフードの開口部と周囲の離隔距離は右図を確保する
(斜め全周吹出しの場合) 単位: mm



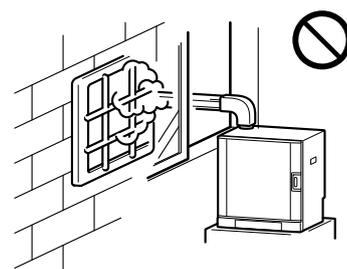
屋内に設置できない場合

乾燥機の設置場所の制約により屋内での設置が不可能な場合は、下記の施工上の注意に従って軒下へ設置する。また、必ず専用台の上に乗せる。

⚠ 注意



■排湿トップの口を壁の給排気口などの開口部へ直接向けない

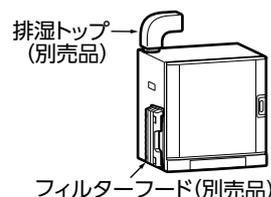


⚠ 注意



■排湿口には、別売の排湿トップを接続し、吸気フィルター部には、別売のフィルターフードを取り付ける【排湿トップセット(フィルターフード付) DT-252NF】

排湿トップやフィルターフードを付けないと、直接雨が機器内に入り、漏電して、感電・火災や機器の故障の原因になります。

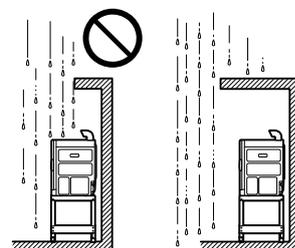


⚠ 注意



■乾燥機の上方には、必ずひさしのような屋根を設け、日光にあたらなようにし、直接水や雨などがかからないようにする

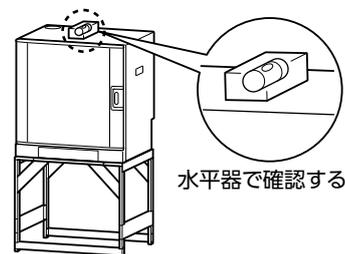
乾燥機に直接水や雨がかかると、漏電して感電・火災や機器故障の原因になります。



⚠ 注意



■乾燥機が水平であることを、水平器などを用いて確認する(前後、左右) 不安定な所や傾いた所で使用すると、安全装置が正常にはたらかなかったり、機器が転倒して、けがをしたりすることがあります。また、前方に傾いた状態で使用すると、前扉が勢いよく開いて、けがをすることがあります。



お願い

■別売の本体保護カバー (DC-52A) の使用をおすすめします。

4 換気について

⚠ 警告



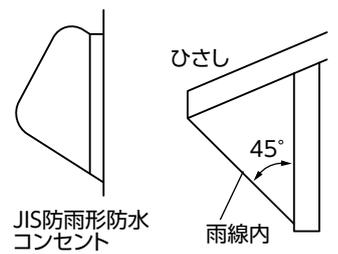
■ガスの完全燃焼には多量の空気が必要です。換気が十分できる設備があるところに設置する 換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

換気必要

7 電気・ガスの接続

屋外に電気配線工事をする場合

- JIS 防雨形防水コンセント（接地端子付）を設置する。
※ JIS 防雨形防水コンセント以外の場合は、コンセントに雨がつかないように雨線内に設置するか、外箱を設ける等の有効な処置をする。
- ※ コンセントに接地端子が付いていない場合は、D 種接地工事を行う。
- コンセントは、地上または床面より 300mm 以上の高さの位置に取り付ける。
- コンセントとガス管および水道管とは、100mm 以上離す。



電気接続

■使用電源の確認

- ・ 電源が AC100 Vであることを確認する。
- ・ アースがされていることを確認する。
- ・ コンセントは機器のうしろにならない位置にする。
- ・ 電源プラグはコンセントにしっかりと差し込む。
- ・ 消費電力に対し、十分に容量のあるコンセントであることを確認する。

⚠ 警告

電源コード・プラグについて



- ぬれた手で抜き差ししない
感電やけがの原因になります。

ぬれ手禁止



- 切断して延長しない
機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。
感電や火災などの原因になります。

- 傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない
感電・発熱による火災の原因になります。

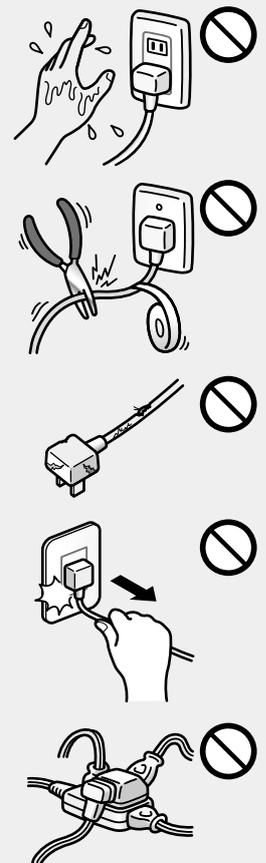
- 電源コードを持って引き抜かない
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・ショート・火災や機器故障の原因になります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 (AC) 100V 以外で使わない
たこ足配線などで指定された定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

- 無理な力を加えたり、重い物をのせたりしない、たばねたまま使用しない
感電や火災などの原因になります。



- 電源プラグは根元までしっかりコンセントに差し込む
感電・発熱による火災の原因になります。



ガス接続

- 機器へのガス接続に必要な資格について (RDT-52SUA、RDT-52SUA-R、RDT-52SUA(G)、RDT-52SUA(G)-R)
 - ・都市ガス用機器の場合、内管工事士・簡易内管施工士・ガス機器設置スペシャリスト・ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
 - ・LP ガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。(ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能) なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事業開始届書」を提出する必要があります。

警告

間違ったガス接続 小口径迅速継手付強化ガスホース (ガスコード) の場合



- スリムプラグ・機器用ソケット・ゴム管・クチゴム付きガスホースを使用しない
ガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

- ガスコードの上に物をのせたり、踏まれる、または挟まれる状況で使用しない

ガスコードが破損し、ガス漏れが生じ、火災の原因になります。

- ガスコードを継ぎ足したり、天井などを通さない

接続部からガス漏れが生じ、火災の原因になります。



ガス接続



正しいガス接続

※強化ガスホースは別売です。



RDT-52SA、RDT-52SA-R、RDT-52SA(G)、RDT-52SA(G)-Rの場合

ガス接続は小口径迅速継手付強化ガスホース（ガスコード）を使用します。

■ガスコードは必ず当社指定の物を使用する

- 接続の際にはガスコードおよび機器の接続口に傷やごみなどの異物がないことを確認し、確実に接続してください。

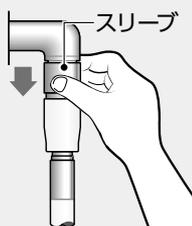
確実に接続されていないとガス漏れが生じ、爆発や火災の原因になります。

機器への取り付け



「カチッ」と音がするまで差し込む

取り外し



スリーブを矢印の方向に引っばる

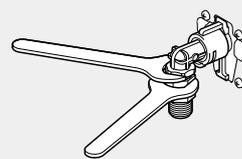
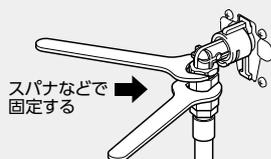
- お使いにならないときは、キャップをガス接続口にはめてください。

RDT-52SUA、RDT-52SUA-R、RDT-52SUA(G)、RDT-52SUA(G)-Rの場合

ガス接続は強化ガスホース（R3/8 ねじ接続用）を使用します。

■専門業者に依頼する

- 正しく接続しないと、ガス漏れ、一酸化炭素中毒、火災の原因になります。
- ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しの際は、必ずお買い上げの販売店、または施工店に連絡してください。
- 強化ガスホースを取り付ける場合は、スパナなどで固定して取り付けてください。
- R1/2 ねじ接続用に変換する場合、同梱のねじ変換継手を使用してください。



■下記の設置条件のとき使用する

- 設置する地域の条例や、ガス機器の設置基準及び実務指針に従ってネジ接続タイプを手配してください。
- 屋外設置の場合は、ネジ接続タイプでの設置を推奨します。

強化ガスホース・電源コードについて

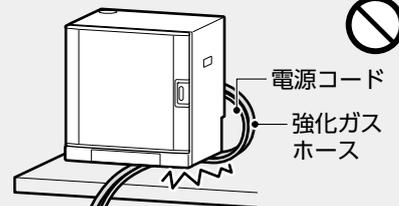


■折れたり、ねじれた状態で使用しない

強化ガスホースはできるだけ短く接続してください。

■機器の下を通したり、触れたりしない

強化ガスホース・電源コードが破損して、ガス漏れや感電・火災の原因になります。



設置工事後の点検

●チェックリスト

| | 点検項目 | 点検内容 | 参照ページ | チェック | |
|-----------|----------------|---------------------------------|--|------|--|
| 機器とその周辺の周 | ガス種 | 銘板は使用するガス種に適合していますか | 2 | | |
| | 電源 | 銘板は使用する電源電圧 (AC100 V) に適合していますか | 2 | | |
| | 設置場所 | | 化学薬品の使用や塵埃が発生しない場所ですか | 3 | |
| | | | 軒下設置の場合、ひさしのような屋根があって、直接水・雨にかからない場所ですか | 3、12 | |
| | | | ふる場など湿気が多い場所ではないですか | 3 | |
| | | | 水平であることを水平器で確認しましたか | 9、12 | |
| | | 機器本体の離隔距離 | 離隔距離は十分ですか | 3 | |
| | | 保守・管理上の空間 | 点検・修理に必要な空間はありますか | 3 | |
| | | 換気設備 | 十分に換気できる場所に設置されていますか | 3、12 | |
| | | 専用台設置 | 乾燥機はしっかりネジ止めされていますか | 9 | |
| | 転倒防止の鎖はされていますか | | 9 | | |
| | 排湿筒工事 | 排湿筒は正しく施工されていますか | 10～12 | | |
| | 電気配線工事 | アース線は接続されていますか | 2、13 | | |
| | ガス接続工事 | 接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか | 14、15 | | |
| | ラベル貼り付け | 連絡先のステッカーを貼り付けましたか | — | | |

試運転

- 設置工事後の点検完了後、試運転を行う。
- 詳しくは取扱説明書に従って行う。

- 1) ドラムの中から、同梱部品の小物乾燥棚を取り出す。
- 2) 電源入/切スイッチを押す。
 - ・標準ランプと  が点灯。
- 3) スタート/一時停止スイッチを押す。
 - ・運転/燃焼ランプが緑色に点灯。
 - ・運転/燃焼ランプが緑色から赤色に変わって着火したことを知らせる。

お願い ■ガス接続工事後、ガス管内に空気が入っていると点火しにくく、異常報知（デジタル表示部に  が点滅）することがあります。この場合は前扉を開けた状態で電源入/切スイッチを“ピー”となるまで押し、機器を停止させてください。前扉を閉め、再び、電源入/切スイッチを押して電源を入れてから、スタート/一時停止スイッチを押して点火してください。（ が点滅した場合はそのまま冷却運転（2分間）終了後に操作してください。）

- 4) 前扉を開けて、電源入/切スイッチを“ピー”となるまで押し。
 - ・運転/燃焼ランプが消え、機器が停止。

お願い ■試運転完了後、そのまま使用しない場合は、ガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客様への取り扱い説明

1. 取扱説明書にそって機器の取り扱いを説明してください。
2. この設置工事説明書は、引っ越しなどで機器を移動する際に必要となりますので、取扱説明書（保証書に必要事項を記入）とともに保管いただくよう、お客様にお渡しください。

製造者 **リンナイ** 株式会社

| | |
|-------|-------|
| 設置年月日 | 年 月 日 |
| 販売店名 | |
| 施工者氏名 | |